



環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



第23号 平成26年11月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

■最近の話題

いなおいがわ

『稲生川』が「かんがい施設遺産」に登録されました

去る9月16日、大韓民国光州広域市で開催された国際かんがい排水委員会（ICID）（以下、「ICID」という。）の第65回国際執行理事会において、『稲生川』が見事「かんがい施設遺産」に登録されました。

ICIDは、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資することを目的として1950年（昭和25年）に設立された自発的非営利・非政府国際機関（本部インド）であり、96の国・地域が加盟しています（日本は1951年に加盟）。

ICIDは、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資することを目的として、建設から100年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたもの等、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録・表彰するための「かんがい施設遺産」制度の創設を決め、今年度から登録を開始しました。



【まだ十和田電鉄が
走っていた頃の稲生川】

1 施設の概要

『稲生川』は、5千円札の新渡戸稲造の祖父である新渡戸傳（つとむ）が、不毛の原野だった160年前の三本木原（現在の青森県十和田市周辺地域）に、十和田湖から農業用水を引くために作った2箇所トンネル約4kmを含む約11kmの人工河川であり（現在は、その後の国営事業などにより総延長約70kmになっています）、十和田市周辺地域を青森県内有数の米どころとし、地域農業を発展させただけでなく、地域全体が発展する礎となりました。

2 伝達式

日本からは『稲生川』など9施設、中国4施設、スリランカ2施設、パキスタン・タイ各1施設の合計17施設が登録され、10月23日、国内の受賞者を対象に農林水産省で登録証の伝達式が行われました。

伝達式には、『稲生川』の管理者である稲生川土地改良区の山崎副理事長が出席し、ICID日本国内委員会の佐藤委員長より登録証を授与されました。



【受賞者と国内委員との記念写真】

3 稲生川の取組

『稲生川』は農家をはじめ、地域住民、学校、企業の方々が共同で維持管理を行っていますが、稲生川流域の生態系保全、美化活動、自然観察会、人づくり・地域づくりなど様々な活動等を通して、地域が一体となって「人と自然が共に創る郷土」を未来に伝え、地域の更なる発展を目指す姿は、青森県がすすめる「環境公共」の先進事例と言えます。

■「環境公共」事例紹介

苗代川目地区（上北郡横浜町）～ 地域とともに育む森林 ～

1 地区の概要

苗代川目地区は、横浜町の北東に位置し、全国有数の面積を誇る菜の花畑を眼下に望み、浜田川や有畑ため池の上流に広がる約40haの森林で、地域の貴重な水源林として、通称「フナグシ沢」と呼ばれ、親しまれています。

当地区は、間伐などの手入れが行き届かず、林内が過密化し荒廃が進んでいたため、森林の持つ水土保持機能の回復を目的に、水源の里保全緊急整備事業（H23～24）により森林整備を実施しました。

併せて、事業の各段階に地域が参加し、地域力の再生や環境を保全することを目的に、平成23年8月に有畑町内会や高田共有地組合などを構成員とした「苗代川目地区水源の里保全と整備を考える会」を設立し、森林の保全活動を行っています。



【地区の全景】

2 森林の保全活動

平成24年5月には、協議会最初の行事として「フナグシ沢植樹祭」を開催しました。協議会をはじめ有畑小学校や有畑町内会から約50名が参加し、ヒバの植樹を行いました。



【育樹（下刈）の様子】

その翌年からは植樹したヒバを育てるための「育樹活動」を開始し、今年は7月15日に行いました。



【植樹の様子】

活動では、森林の役割について学習した後、下草に覆われたヒバを懸命に探し、生育の支障となる下草を丁寧に刈り払いました。作業終了後は、フナグシ沢周辺に生息する動植物について学習し、地域の森林への理解を楽しく、より深める時間となりました。

3 今後の取組

ヒバの育樹活動は、ヒバが下草に負けない程度に成長するまで、今後も実施していきます。

間もなく有畑小学校は統合小学校として新しくなりますが、新しい小学校になっても地域全体の活性化に向けたこの活動に対する継続した協力を呼びかけていきたいと考えており、植樹当時から森林づくりに携わった子どもたちとヒバの成長を見守ると共に、地域づくり、森づくりに取り組んでいくこととしています。



【育樹活動後の記念撮影】